



たくさんの思い出を胸に学び舎を巣立つ 市内各地で卒業式

3月16日、市立法奥小学校（向井博校長）で卒業証書授与式が行われ、保護者など関係者が見守る中、24人の卒業生たちに卒業証書が手渡されました。
向井校長は、「法奥小と奥入瀬小が統合した最初の年でさまざまな困難があったと思いますが、何事にも手を抜かず、学年全体の団結力がありました。皆さんは法奥小自慢の24人です。中学校での活躍を期待しています」と、激励しました。



向井校長から卒業証書が卒業生に手渡されました

東北大会初出場で初優勝！ 十和田ジュニアハンドボールクラブ

2月25日、26日に秋田県湯沢市で開催された東北ブロック小学生ハンドボール交流大会で十和田ジュニアハンドボールクラブが初出場で初優勝を飾りました。
3月1日、同クラブの選手らが市役所を訪れ、市長に喜びの報告を行いました。大会で優秀選手賞を受賞した中川原悠斗くん（西小・6年）は、「チーム一丸となって戦い、満足のいく試合ができました。中学校でもハンドボールを続けたいです」と、意欲を見せていました。



青森県勢初優勝を決めた十和田ジュニアハンドボールクラブの皆さん

世界の文化と触れ合い、世界の文化を知ろう スプリング・フェア 2012

3月11日、十和田商工会館でNPO法人十和田国際交流協会（白山春男理事長）が主催し、「スプリング・フェア 2012」が開催されました。
会場には、市内在住の外国人が出品したタイ料理やフィリピン料理などが販売され、訪れた市民が本場の味に舌鼓を打っていました。また、舞台では外国人のかたたちが日本舞踊やタイ民族舞踊などを披露、会場から大きな拍手が送られていました。



上北地域のALT（英語指導助手）の皆さんは十二支をもとにした劇を披露しました

青森県へ遊びに来てください！ 台湾の皆さんに安全をPR

2月24日、十和田農業体験連絡協議会の水尻美喜穂会長らが市役所を訪れ、アジアからの観光客誘致推進協議会の活動として、台湾で震災後の青森県の安全性についてPRを行ったことを市長に報告しました。
水尻会長は、「台湾のかたがたは放射能の心配はしていないので、観光客の誘致に向けて前向きな話ができました」と、成功裏に終わったPR活動に手応えを感じていました。



台湾の高雄市や台南市で行ったPR活動を市長に報告

素人が見せるプロ顔負けの演技に拍手喝采 十和田市素人防犯演芸大会

3月4日、十和田市民文化センターで「第50回記念十和田市素人防犯演芸大会」が開催されました。主催した十和田市防犯協会の高谷隆一会長は、「この大会を通じてさらなる防犯意識を高めてほしい」と会場を訪れたかたがたに防犯への意識啓発を促していました。
演芸大会は、歌謡・民謡の部、子どもの部など7部門にわたって行われ、約50人の参加者はプロ顔負けの演舞や歌で会場を埋め尽くした多くの観客を魅了していました。



団体の部で息の合った演舞を披露。観客からは惜しみない拍手が送られました

十和田観光電鉄が資料展を開催 TKD 89 ミュージアム

3月3日から31日にかけて、十和田市駅2階特設会場で「TKD（十和田観光電鉄）89 ミュージアム」が開催されました。会場では、実際に使用した鉄道関係の部品の展示や記念グッズの販売が行われるとともに、市内在住の写真家・小沢純二さんが撮影した懐かしい車両や運行風景、駅舎の様子など約80枚が展示され、訪れた全国の鉄道ファンや市民は廃止となる十和田観光電鉄への名残を惜しんでいました。



多くの市民や鉄道ファンが訪れ、賑わいを見せていました



追悼3.11 あの日を忘れない～東日本大震災から1年～ pray for the EARTH チャリティーイベント

3月11日、東日本大震災の被災者を追悼する市民の集い「pray for the EARTH チャリティーイベント」が現代美術館で開催されました。
この集いは、原発事故のため福島県浪江町から本市へ避難している矢澤アイサさんら避難者のかたがたが中心となって実施したものです。
矢澤さんは、「3月11日は決して忘れられない日です。被災者と気持ちを共有し、今、私たちができること、一番大切なことは何かを一緒に考える機会にしたいです」と被災地への思いを話しました。
会場では、矢澤さんの仲間のバンドが駆け付け、ライブを行ったほか、大津波で犠牲となった岩手県南三陸町職員・遠藤未希さんを偲んだ詩「命でんでこ」の朗読などが行われました。
夜には同館前の広場で、手作りのキャンドルを「絆3.11」と並べ、明かりを灯しました。参加者らは暗闇に浮かび上がるキャンドルに手を合わせ、震災で犠牲になった多くのかたの冥福を祈るとともに、被災地の1日も早い復興を願っていました。



がんばろう東北！



- 1 午後2時46分、会場の全員が黙とう
- 2 暗闇に浮かぶ鎮魂の灯、犠牲者を偲ぶ
- 3 チャリティーライブで会場の心も一つに